

With

ウイッス

～私たちが私たちらしく暮らせる地域づくりを
みんなですすめようという意味を込めています～

西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課 生活支援コーディネーター

小薮（全市域・甲陽園）・高井（中央）・高田（鳴尾）・牧（瓦木）・中川（甲東・山口）・北山（塩瀬）
※山口地域と塩瀬地域は生活支援コーディネーターと地区担当者を兼務（北山は地域福祉課所属）

〒662-0857 西宮市中前田町1-23 地域共生館ふれぼの内

TEL(0798)61-1361 FAX (0798)61-1409 kyoseimachi@n-shakyo.jp

コロナ禍で出会った人たち・始まった取り組み！

コロナウイルスが流行し始めて約1年が経ちました。生活支援コーディネーターとしても悩みながら歩んできた1年でした。しかし、そんな中でも素敵な出会いがあり、新たな取り組みもありました。その一部を紹介します。

新たな出会い！

●大学生の活躍に期待！

コロナの影響を受けた大学生同士でつくる学生応援プロジェクト“繋がり隊”。その取り組みを通して、思いのある大学生達と出会いました。リーダーとして活躍する2回生の真鍋君は「思い描いていた大学生活が遅れていない中で、繋がり隊の活動が僕の心の支え」「これからは僕たちも地域の方の力になりたい」と力強く話をしてくれました。



●青葉園×西宮流 アマビエ地域デビュー！

青葉園が地域の皆さんと作ったアマビエ。その取り組みに、コロナ禍であっても面白いことを発信し続ける「西宮流(スタイル)」が共感し、市民のみなさん見てもらおうと展示することになりました。たくさんの思いが詰まった巨大なアマビエが地域にデビューする機会になりました。

※西宮流は西宮にまつわる情報を発信されています。
(<https://nishinomiya-style.jp>)



新たな取り組み！

●子供たちの新たな一面を発見！

子ども食堂「プチキャビンキッズ」ではこれまでみんなで一緒に食事をしていましたが、感染予防対策のためお弁当配布に形を変えて実施されています。代表の藤井さんは「最初は恥ずかしそうにしていた子どもが回数を重ねるうちに、元気に挨拶してくれるようになりました」と新たな活動での気づきを語っておられました。



●地域との交流を諦めない！

多くの福祉施設では地域との交流が難しいのが現状です。それでも、段上地区にあるいくつかの福祉施設のみなさんは交流することを諦めずに話し合いを重ね、オンラインでのクイズ大会を実施されました。「オンラインを活用すればもっと楽しいことができるかも」「けどやっぱり実際に会いたいね」と話をされていました。



コロナ禍でもワクワクする出会いや取り組みがたくさんあり、今後の展開が楽しみです。

こんな時だからこそ、一人ひとりの思いが重なり合って生まれるものを大切にしていきたいです。

ふくふくサロン(今津)

互いの「できること」を出し合いながら9人10脚のチームづくり

市内で取り組みがすすんでいる「共生型地域交流拠点」についてシリーズで各拠点の様子を紹介しています。



場 所：今津出在家町 2-2

開設日時：月～金 10時～16時

内 容：喫茶・軽食提供

(現在は感染予防のため喫茶のみ提供)

協力法人：社会福祉法人聖徳園

スタッフ：9人 (R3.1月現在)



イメージキャラクター

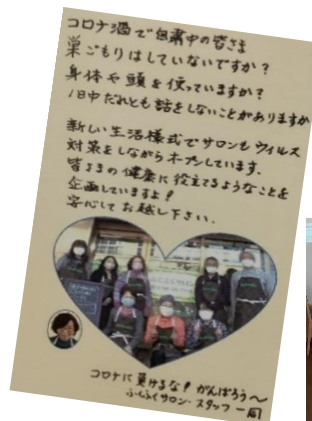


“ほっとできるリビングのような場”を目指すふくふくサロンでは、「〇〇さん、久しぶりやね、ここすわり〜」「家に届いた書類の書き方が分からへんのやけど教えてもらえるかな？」など、入口を開けるとみなさんの賑やかな声が聞こえます。

コロナの影響で集まることが難しくなり、スタッフみんなで今何ができるかを話し合いました。「外出を控えている高齢者の体調が心配」との一人のスタッフの声から、「サロン便り」を発行するなど、集わなくても心がつながる取り組みをスタッフ一丸となつてつくっています。

ふくふくサロンのあゆみ

- H27 ボランティア有志と地域内の社会福祉法人、社協職員等でプロジェクト会議を立ち上げ協議開始
神社敷地内集会室をつかって月1回からスタート
- H28 活動を週1回に変更
常設に向けて場所探しや活動内容を具体的に検討
- H29 現在の拠点に移転・改装し、共生型地域交流拠点として週5日で本格実施



←サロン便り



現在は感染対策の上、開所しています。

スタッフのみなさんにインタビュー

代表 上村 孝子さん



『スタッフみんなで協力し合う』が合言葉

現在9人のスタッフとともに、当番制で参加者を迎えています。スタッフ全員が集まる月1回のミーティングでは、活動の中でスタッフが気づいた参加者の体調変化や困りごとについて共有します。また、専門職と一緒にご本人の生活の中でサロンができることを考えるようにしています。

活動の中で心掛けていることは、『スタッフみんなで協力し合うこと』です。コロナで思うような活動ができなくても、スタッフ同士アイデアや意見を出し合う場を持ち続けたことで、地域の拠点としてどのような工夫が必要かを考えて前向きに話し合うことができました。

これからも9人10脚となつて、スタッフそれぞれが持っている力を発揮してこれからも楽しんで活動を作り上げたいと思います。

スタッフ
島 雅子さん

お互いの強みを活かしながら活動をつくっています

活動はスタッフ全員が一緒につくるようにしています。「パソコンが得意」「いろんなアイデアが浮かぶ」などお互いの強みを活かしながら活動をすすめています。

また、活動中の会話やLINEでのやりとりでコミュニケーションをとっていて、時にはちょっとした冗談も共有したり(笑)、とても居心地のいい雰囲気で活動をしています。